



# はとぐみだより

No. 3

令和4年7月5日  
港区立本村幼稚園  
園長 山村 登洋  
担任 中山 利広

本村なつまつりや後半にととも暑い日が続いた6月もあっという間に終わって7月がやってきました。1学期の終わりを迎えます。保育室で友達とごっこ遊びや七夕飾り作りなどを楽しんだり、園庭で色水遊びや砂場での水路作り、ルールのある遊びで体を動かしたりして過ごしていました。友達と関わって遊ぶことが楽しいと感じる姿と同時に、つい強い口調で言う姿や自分の思いをうまく言葉で言い出せずに相手に伝わらず困る姿などが見られる中で、相手の気持ちを素直に受け止めて仲直りして遊んだり、年少児と共に遊びの場を作ったり同じ場で関わってしたいことを共有しながら遊んだりする姿も見られます。そうしたことを大いに経験することで様々な心情が育っていく時期なのでしょうね。

## ☆水遊び、楽しんでいきます

プール開きを楽しみにしながら、年長組のみんなですプール掃除をしました。時々年少組の応援がうれしかったです。プールの壁や床面をスポンジでゴシゴシ…たくさんの汚れをみんなで落としました。水の吸い取りはタオルに含ませて絞ることを繰り返ししました。だんだん疲れてきた頃には集めた水の量をグループで対決です。大きなバスタオルは水をたくさん集められるけれども絞ることが大変。小さい雑巾はその反対。引き分けでした。

暑い中、頑張りました。楽しみになりすぎて、プールの組み立てからじっくり見ていました。



待ってました！水って、気持ちいいな！



プール開きの日には、きれいな水が張られたプールで、水に浸かったり、掛けたり、動物などのいろいろな動きを楽しんだりして幼稚園で初めてのプール遊びを楽しみました。今後も貝拾いやフープくぐり、ビート板を使った遊びや蹴伸びなどプールの中でいろいろな遊びや動きを楽しみながら水に親しむとともに、「顔に水をつけられるようになりたい」「まっすぐ泳ぎたい」など個々の取組の様子から自分なりのめあてをもてるように援助して挑んでいきたいと思います。



わっしょいわっしょい！  
みんなで力を合わせて中山先生を運ぼう！



水が多いのかな、石鹸が多いのかな。シャボン液作りは難しそうにしています。その度に教師を頼ります。一緒に試したり、「これを多くしてみる？」などコツを伝えたりします。先日、若竹学級の児童が遊びにきてくれました。大きな輪で作るシャボン玉、とても刺激的でした。



どうやって水を入れるんだ？  
早くお化けをやっつけよう。  
あれ、水が入らないぞ…。

プールの外での水遊びでは、自分なりに石鹸や水の量を調整してのシャボン液作りや水圧を感じることでできる水鉄砲を使った遊び、フィンガーペインティングなど、日によっては着衣のままでも水と関連した遊びを経験し、感触や試行錯誤して遊ぶことを楽しむようにしていきます。

## ☆七夕へ向けて～七夕飾り作り、ありすの杜訪問

7月7日は七夕です。昨年度の経験を思い出しながら七夕飾り作りをしています。四角飾りは紙を折ってハサミで切り込みを入れてから糊でつなげる、提灯飾りはやや硬い画用紙を折って細かく切り込みを入れてから丸める、提灯飾りの応用で糊を付ける位置を変えて貝殻つなぎを作るなどの作業が続きました。小学校就学を意識して、一斉活動の中で教師の説明を聞いて作ることや糊の量を加減して丁寧に付ける、ハサミを操作するなど道具をどう使いこなすかなどの力を育むことを意識して活動してきました。「切り落としちゃった、どうしよう…」「この先が分からない…」など悩んだり、困ったりする姿もたくさんありました。自分なりに考えてどのように乗り越えていくのかを教師が出過ぎずに見守ったり、友達の助けに共感したりする援助を続けてきました。だからこそ、出来上がりに達成感があったのでしょうか。作品を繰り返し見たり、副園長先生に説明したりしていました。

本村幼稚園の近くには高齢者施設「ありすの杜」があります。そのことを伝え、七夕飾りを届けることになりました。得意な七夕飾りを自分で選んで作り、笹に飾り付けて届けました。いつまでも元気でいてください。子どもたちの作品が飾られた笹は7日に持ち帰ります。マーブリングで染めた短冊も持ち帰ります。ご家族のお願い事に使ってください。

どの作品もとても丁寧に作り上げています。きっと、ありすの杜のみなさんも喜んでくださることでしょう。



## ☆収穫したジャガイモを料理しました

りす組の3月に植えた種芋が生長し、時折テントウムシを捕まえたり枯れた葉を摘んだりしながら世話を続けて、先日194個のジャガイモを収穫しました。どうやって食べようかと学級で話題にしたところ、人気はやっぱりカレーとポテトチップス。タマネギも収穫しましたのでまずはカレー作りです。

調理の前日はジャガイモを洗って乾かしました。暑いから水に触りたい子もたくさんいましたが、数の多いジャガイモを全部洗い終えるには多少苦戦。でも頑張って洗い切りました。

調理当日はもうすでにタマネギを炒めた甘い香りが園内にありました。副園長先生がみんなのために朝早くから下準備をしてくださっていました。身支度を終えた後すぐにジャガイモの皮むきと皮をむいたジャガイモを包丁で切る作業をしました。いつかの降園時に「大きくなるには、少し危ない経験もしていくことも大事」とお話いたしました。年長組のみんなはピーラーや包丁は指が切れるんだ、とよく分かっていましたから作業も慎重です。「あ！先生、ちょっと切れちゃった！」も想定内でした。でも泣いたりしません。作業を通してこの先どうなるかを予想しながら道具を操作できるようになります。皮をむき終わると今度は包丁で切り分けます。「猫の手で（食材を）押さえるんだよ」と知っていることを話してくれましたが、実際は包丁の前に猫の手がある様子の子もいてハラハラでした。2回3回と繰り返すことでだんだんと危なくない切り方を意識して取り組んでいる様子でした。切り終えて職員室にジャガイモを届けた後は、ふうっとため息をついていました。慣れない活動に気が張っていたのでしょうか。



なかなか難しいな。けど、頑張るぞ。



ジャガイモ、194個！さあ、どうやって食べようか考えるだけでもワクワクします。

当番活動を終えた頃にはカレーを煮込んでいる匂いが園内に漂い始めていました。匂いにつられてやってきた子たちは、ルーを入れる前のぐつぐつと煮えている状態の鍋をのぞかせてもらったり、いつカレーを食べるのか催促にきたりしていました。ジャガイモはホクホクでとても甘くおいしかったです。今度はポテトチップス。誕生会のおやつになりそうです。